

(別紙4(2))

事業所名 グループホームきのみ

目標達成計画

作成日: 令和 8年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・職員間での意見の相違や価値観の違いにより、円滑な連携が図れない場面がある。 ・業務上のミスや対応について職員間の心理的負担や関係性の悪化につながることがある。 ・情報共有の不足や伝達方法の違いにより、認識のずれが生じることがある。その結果、職員が安心して意見交換できる環境や、協力し合う体制の構築が十分とは言えない。	【チームワークの向上を図る】 職員同士が互いを尊重し、安心して意見交換や相談ができる関係性を構築し、円滑な情報共有と協力体制のもとで統一したケアを提供できるチームを形成する。	・年6回スタッフ会議を実施し、ケアの方向性や課題を共有する ・業務報告だけでなく、困りごとや改善提案を話せる場として、良い対応や工夫をミーティング等で共有し、互いの努力を認め合う機会をつくる ・職員間の関係性や状況を把握し、必要に応じて個別に相談対応を行う ・申し送りや記録の方法を統一し、誰が見ても分かる記録を徹底する 口頭だけでなく、記録による確実な情報共有を行う ・職員同士が互いの考え方やケア観を理解できるよう、意見交換の機会を設ける ・否定ではなく「より良いケアのための提案」という視点で話し合う風土を育てる	12ヶ月
2		・利用者一人ひとりの希望や家族の要望に対し、十分に対応できない場合がある。 ・日常業務を優先する中で、個別の思いや希望に寄り添う時間が不足することがある。 ・利用者や家族の満足度を把握する機会が十分とは言えない。 ・「その人らしい生活」の実現に向けた支援をさらに充実させる必要がある。	【利用者満足度の向上を図る】 利用者一人ひとりの思いや希望、家族の意向を尊重し、柔軟で丁寧な対応を行うことで、安心してその人らしく生活できる環境を整え、「このホームを利用して良かった」と感じていただける支援を提供する。	・日常の関わりの中で利用者の希望や思いを丁寧に把握する ・家族との面談や連絡時に要望や意向を確認する ・利用者の生活歴や好みを踏まえた個別支援を行う ・可能な範囲で本人の希望に沿った生活ができるよう支援する ・画一的な対応ではなく、個々の状況に応じた柔軟な対応を心がける ・本人・家族の希望に対し、実現可能な方法を検討する ・声かけや説明を丁寧に言い、安心感を持って生活していただけるよう努める ・尊厳を守るケアを意識し、信頼関係の構築に努める ・利用者や家族の要望を職員間で共有し、統一した支援を行う ・ケア内容を定期的に見直し、改善につなげる	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。